

8月定例月議会における議案に対する意見募集

No.3 リアルタイム浸水予測マップ構築事業

気候変動の影響に伴う水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、整備水準を超える降雨に見舞われた際に、浸水被害の軽減を図るため、市民や事業者の防災・減災行動につながるリアルタイムの浸水予測情報の発信を行おうとするものです。

今回の事業に対するご意見を募集します。

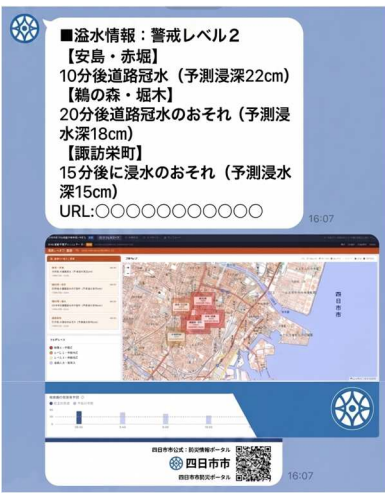
1. 内容

令和7年9月の大雨による浸水被害を踏まえ、中心市街地を対象に、気象データと水位情報を組み合わせたAIによる浸水予測の実用性について調査研究を行ったところ、「リアルタイム浸水予測マップ」の導入に一定の目途が立ったことから、令和9年度の出水期を迎えるまでに市民が利用できるよう、システムを構築する。

対象エリア	中心市街地およびその周辺エリア	
予測時間	10分間隔で1時間後まで	※AI活用（処理の高速化）
予測内容	いつ、どこで、どれくらい溢れるか	※AI活用（精度の向上）
情報発信方法	Webによる浸水予測マップの公開やLINEによるプッシュ通知等	

＜リアルタイム浸水予測マップを活用した
市民への情報発信画面（イメージ）＞

＜LINEプッシュ通知
（イメージ）＞



3. 補正予算額

26,000千円	(財源内訳)	国庫支出金（1／2）	13,000千円
		自己財源	13,000千円